

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【食】、【女性・若者の力】

1. 都道府県、市町村 愛知県^{あいち}愛西市
2. 事業者名 立田地区^{たつたちく}生活改善実行グループ
3. 取組みの名称 水郷の味わい豊か「レンコン料理」で地域に活力！
4. 取組概要等

概要

1 生活改善実行グループ発足

昭和44年、地域婦人会の料理講習会で普及員に指導を受けたのをきっかけに、生活改善実行グループが発足。家族の健康を考え、レンコンを始め、地場野菜を利用した料理の工夫をしながら、生活改善活動を進めた。

2 「レンコンが売れない!？」から看板メニューを発案

「レンコンは固くて食べにくい」や「季節食材」との理由で消費低迷の時代があった。そこで、グループ会員が家族に食べさせるため、レンコンをすりおろして調理する方法を考案し、そこから、レンコンの蒲焼きや一口揚げなどの看板メニューとなる品々が誕生した。地域内で徐々に活動が認められ、レンコン出荷箱に考案したレシピが入れられたり、「レンコンフェア」やデパートでの料理実演会などに依頼されるようになり、PRの機会が増えてきた。

3 「レンコンおばさん」ここにあり！

学校、地域婦人会、農協女性部、生協役員会、村行事「レンコン掘り大会」での親子料理教室など、レンコン料理を教える機会が増えた。レンコンチップスは学校給食で取り上げられるようになり、子供たちに好評とのことである。

4 「私たちが起業！」

平成16年12月『立田ふれあいの里』のオープンに伴い、その一角でレンコン料理を提供することとなった。また、レンコンの蒲焼き丼やレンコンチップスなどの、レンコン料理の店「はす工房」を起業した。

活動の規模

項目	H13	H14	H15	H16	H17
生産量	5,531	5,153	3,636	3,960	
解説	単位：t レンコン収穫量（海部地域）				
雇用者数				9	12
解説	単位：人 はす工房（正社員5名・他パート）				
イベント	2,000	2,000	2,500	3,000	未実施
参加者	単位：人 立田村農産物フェア参加者				
その他	5	6	4	4	4
解説	単位：回 講演会回数・佐屋高校、地域婦人会（佐屋町・東郷町）、JA海部女性部、名勤生協役員、一般親子教室等				
その他	5(190)	230	170	180	150
解説	単位：人 講演会参加者数				

活用している地域資源

- ・レンコン：愛西市旧立田村、旧八開村のレンコン栽培は、低湿地帯を活かした特産品として、県内生産量の95%を占め、**全国第3位の産地**である。
- ・水郷地帯ならではの食材と郷土料理：コイ、もろこ、しじみ等の川魚料理、米、トマト、イチゴ、フキ、水耕葉菜などが古くから食され、「箱ずし」など多くの郷土料理が生まれた。
- ・赤花ハス保存田：**32種類の蓮を一堂に集め、先人達が作り上げた芸術的な品種の数々を区分し、開発・改良を繰り返して、栽培・保存に努めている。**毎年7月には「ハス見の会」の行事が行われ、水郷のイメージを満喫する多くの人で賑わっている。
- ・地域交流拠点施設「立田ふれあいの里」：水車をイメージした和風造りの建物には、『はす工房』を始め、120戸の農家が出荷している農産物直売所、土産ショップ、旧立田村の農業・歴史・観光スポット・道路情報がわかるスペースや焼きたてパン屋などが入り、周辺にはハス保存田もある。
- ・立田村農産物フェア：昭和63年から始まった村行事で、“レンコンの蒲焼き”など毎年何点かの**レンコン料理の無料配布を続け、消費者ニーズの把握の場になっている。**参加者の反応により、作り方や味に工夫を重ね、現在のレシピに定着してきた。

地域活性化のポイント

グループ活動を続けて36年。**レンコン料理にひたすらこだわり、新メニューの考案と工夫、伝承を続けてきた。**平成4年「食アメニティ・コンテスト国土庁長官賞(水郷の幸味わい賞)」、平成8年「岩槻賞」などを受賞するなど大きな成果を上げた。

「立田ふれあいの里」はオープン以来、来客数が徐々に増加し、土日の来客数は一日1,500人に近づく勢いである。「はす工房」も売上げが月300万円を超え、**レンコン料理を作らなかった人やレンコン料理を敬遠していた人達まで、レンコン消費の枠を広げた。**

事業の今後の展開方向

平成17年4月、海部郡の4町村が合併して愛西市が誕生した。市内の他地域にも生活改善グループが点在し、特産物を活かす活動を続けており、**女性起業の波及とネットワークづくりを行い、地域をリードする活動を展開していく。**

10月には「立田ふれあいの里」が道の駅として認定を受け、**農業・農村の多面的機能、この地域の良さを伝える情報発信の拠点となるように「はす工房」の活動を通して積極的に協力していく。**

会員の中には、普及課主催の「海部地方郷土料理研究会」で更に郷土料理を勉強している者や、「農村輝きネット・あいち」の会長より「輝きネットあいちの技人」の認定を受けた者もいる。これからも『はす工房』の活動だけでなく、レンコン料理の普及を通し地域活性化の一躍を担っていく。

